お 客 様 各 位　　2014年11月25日

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil　DAILY MARKET REPORT

SMBC BANCO SUMITOMO MITSUI BRASILEIRO S.A.
Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、先週末の流れを引き継ぎレアル買い優勢で取引が始まったものの、次期財務相人事について特段進展が見られなかったことを嫌気し、引けにかけては反落。一時2．55台前半までレアル売りが進行した。ボベスパ株式指数もペトロブラス株を中心に序盤は上昇したが、この動きも続かず前日比1．2%安で取引を終えた。なお、ペトロブラスは米証券取引委員会(SEC)から汚職疑惑事件に関連した書類の提出を求める召喚状を受け取ったことを明らかにしている。

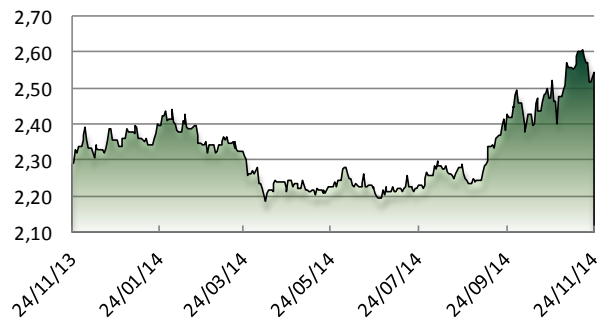
中銀が公表した週次サーベイによると、2015年のIPCA・ドルレアルスポット相場の見通しがそれぞれ先週対比引き上げられた(6．40%→6．45%、2．61→2．65)。中銀による予想外の利上げ、為替スワップのロールオーバー増額など、インフレ抑制・レアル安の防止に向けて各種政策が実行されているものの、実体経済の悪化が表面化していることから、投資家の「中長期的にはレアル安」という見通しに目立った変化は見られていない。11月のFGV消費者信頼感指数も95．3と、08年12月以来6年ぶりの水準まで低下。また、10月経常収支も81．3億ドルの赤字となり、前月9月の79億ドルから拡大。10月単体としても過去最大の赤字を記録した。原油価格を中心に商品市況の下落が顕著となっているが、ブラジルの主要輸出品目である鉄鉱石や大豆などの価格も急落していることから、対外収支の悪化が浮き彫りとなっている。その結果、対国内総生産(GDP)比率も3．73%と、01年以降で最も高い水準まで上昇した。同時に公表された10月外国直接投資(FDI)は49．8億ドルと堅調な数字を示したものの、経常赤字を補填するために十分な数字とは言い難く、経常赤字の拡大がレアルの急落を招くというシナリオが今後再燃する可能性もあろう。一方、レアルにとってポジティブな材料となり得る財務相人事については、引き続き明確な人選は行われていないものの、現時点では2015年の予算削減計画と同日程(26日)で公表される見通しである。

マーケットデータ

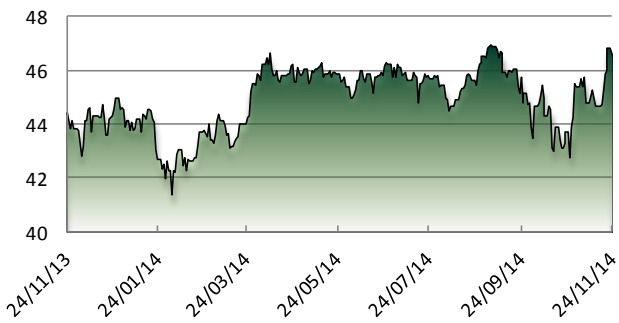
Indicator	Unit	11月21日	11月24日	前日比	10月24日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	46,83	46,46	-0,37	43,73	+2,73
USD / BRL Spot	BRL	2,5158	2,5461	+0,0303	2,4739	+0,0722
USD / JPY Spot	JPY	117,79	118,27	+0,48	108,16	+10,11
Bovespa（ブラジル株価指数）	Index	56.084	55.407	-677	51.941	+3.466
CDS Brazil 5yrs（ｸﾚｼﾞｯﾄﾃﾞﾌｫﾙﾄｽﾜｯﾌﾟ）	bps	163,7	159,8	-3,9	165,2	-5,4
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,20	12,05	-0,15	12,08	-0,03
DI Future Jan16（金利先物）	%	12,33	12,30	-0,03	11,92	+0,38
3 Months US Dollar Libor	%	0,233	0,234	+0,001	0,233	+0,001
CRB Index（国際商品指数）	Index	269,1	267,2	-1,9	270,2	-3,0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。